

教 育 課 程

試験規定（第24条第2項関係）

（趣旨）

第1条 長崎短期大学における試験については、長崎短期大学学則に定めるもののほか、必要事項はこの規程に定める。

（受験資格）

第2条 試験を受けることができる科目は、当該年度に履修登録した科目でなければならない。ただし、認定試験はこの限りでない。

2 受験者は、当該科目の全授業回数の3分の2以上出席していなければならない。

3 授業料等の学納金が完納していなければならない。

（定期試験）

第3条 定期試験は、学期末に公示される試験時間割により、学年暦に定められた期間に行う試験とする。

2 試験時間割は定期試験実施の2週間前に発表する。

3 通年科目の試験は後期末に実施する。ただし、学習状況を確認するために、前期末に試験をすることができる。

（追試験）

第4条 追試験は、病気、その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった科目に対して所定の期間に行う試験とする。

2 追試験の受験希望者は、所定の期日までに追・再試験受験願に受験料を添えて事務室に提出しなければならない。

3 追・再試験受験願には、その理由を証明する証憑書類等を添付しなければならない。

4 公認欠席によらない追試験の評価は、得点に0.8を乗じて得られた値（小数点以下切り捨て）によるものとする。

（再試験）

第5条 再試験は、定期試験の成績が不合格となった科目に対して所定の期間に行う試験とする。

2 再試験の受験希望者は、所定の期日までに追・再試験受験願に受験料を添えて事務室に提出しなければならない。

3 再試験は、60点以上を合格とし、合格の場合の評価は一律「可」とする。

（認定試験）

第6条 認定試験は、入学後履修した科目の中で不合格（追試験、再試験の結果が不合格または追試験、再試験を病気その他やむを得ぬ理由で受験できず不合格）の科目に対して2年次後期末の所定の期間に行う試験とする。

2 認定試験として受験できる科目は、原則として3科目以内とし、卒業に要する科目とする。

3 認定試験は、60点以上を合格とし、合格の場合の評価は一律「可」とする。

(成績評価)

第 7 条 履修科目の成績は、学則第25条により、秀、優、良、可、不可、無効の評語をもって表し、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

2 成績評価は次の基準による。

- (1) 秀 100点から90点まで
- (2) 優 89点から80点まで
- (3) 良 79点から70点まで
- (4) 可 69点から60点まで
- (5) 不可 59点以下
- (6) 無効 出席不良、受験放棄、不正行為

(試験についての心得)

第 8 条 受験者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 試験中は必ず学生証を机の上に置かなければならない。学生証を忘れた者は、事務室で仮学生証の交付を受け、提示しなければならない。
- (2) 受験中に不正行為があった場合、当該科目の得点は無効とし、学則第45条に基づき懲戒する。
- (3) 試験を実施する授業において、授業開始後15分以上遅刻した者は当該科目の定期試験受験資格を喪失する。
- (4) 試験時間は60分とし、試験開始後30分を経過するまでは退室できない。

(その他)

第 9 条 定期試験の代替として課せられた、レポート・実験実習・実技・作品等（以下「レポート等」という）、または平常の成績認定の対象となるレポート等が、指定された期日までに提出、または実施されない場合、その科目は不合格とする。

附 則

この規程は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

(評価基準の変更に伴う改正)

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

(成績評価基準等の変更に伴う改正)

長崎県大学・短期大学間単位互換制度 (略称—NICE キャンパス長崎)

長崎県内の大学・短期大学が連携して、それぞれの大学の提供科目を他の大学・短大の学生も履修可能とし、履修して試験やレポートの評価で合格すれば単位が取得できて、しかも、その単位は卒業単位としても認められるという制度があります。

各大学の提供科目は教養 139 科目、専門 320 科目（配布されるシラバスを参照）に及び、本学教育にも有益である科目を選択し、その科目が時間割の都合上受講可能な場合、履修申込みをすることができます。（ただし、短大の場合、本学の科目履修で時間割はかなり詰まってしまう。）

ところが、コーディネート科目は長崎県立大学と長崎国際大学及び長崎短期大学の三大学が協調して開設される科目で、しかも金曜日の夜の授業で、だれでも受講しやすく条件整備がなされています。下記の案内を読んで多数の受講者があることを期待しています。

コ ー デ ィ ネ ー ト 科 目

期 間	前 期	後 期
科 目 名	「長崎の今昔を知り、 これからを考える」	「長崎県の観光 魅力づくりとその発信」
授業形式	オムニバス形式	オムニバス形式
単 位	教養 2 単位	教養 2 単位
開設大学	長崎県立大学	長崎国際大学
場 所	アルカスSASEBO（佐世保駅横）	アルカスSASEBO（佐世保駅横）
開講曜日	毎週金曜日 15回	毎週金曜日 15回
開講時間	19時00分～20時30分	19時00分～20時30分

食 物 科

(調 理 コ ー ス)

別表第1の1 (第22条第5項関係)

科目区分	授 業 科 目	授業の方法	単 位 数		配当 年次	備 考	
			必修	選択			
基 礎 教 育 科 目	茶 道 文 化 I	演習	1		1		
	茶 道 文 化 II	演習	1		1		
	茶 道 文 化 III	演習	1		2		
	茶 道 文 化 IV	演習	1		2		
	・ 大 学 教 育 入 門	講義	1		1	留学生は「総合演習A」で必修読替可	
	基 礎 化 学	講義	2		1		
	心 理 学	講義		2	1		
	社 会 福 祉	講義		2	2		
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習 I	演習		1	1		
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習 II	演習		1	1		
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習 III	演習	1		2		
	食 文 化 概 論	講義	2		2		
	外 国 語	英語コミュニケーションI	演習	1	1	1	2か国語のうち1か国語を必修 ※留学生は別表第4に掲げる日本語科目で必修読替可
		フ ラ ン ス 語 I	演習			1	
		英語コミュニケーションII	演習	1	1	1	2か国語のうちから外国語Iを履修した1か国語を必修 ※留学生は別表第4に掲げる日本語科目で必修読替可
		フ ラ ン ス 語 II	演習			1	
		フ ラ ン ス 語 III	演習		1	2	フランス語I・IIを履修した学生
	フ ラ ン ス 語 IV	演習		1	2	フランス語I・II・IIIを履修した学生	
	保 健 体 育	ス ポ ー ツ 実 習 I	実習	1	1		
		ス ポ ー ツ 実 習 II	実習	1	1		
専 門 教 育 科 目	衛 生 法 規	講義	2		2		
	公 衆 衛 生 学	公 衆 衛 生 学 I	講義	2	1		
		公 衆 衛 生 学 II	講義	2	1		
		公 衆 衛 生 学 III	講義	2	2		

科 目 区 分	授 業 科 目	授業の 方 法	単 位 数		配 当 年 次	備 考
			必 修	選 択		
食 品 学	食 品 学 I	講義	2		1	
	食 品 学 II	講義	2		1	
栄 養 学	栄 養 学 I	講義	2		1	
	栄 養 学 II	講義	2		1	
	栄 養 学 III	講義	2		2	
食 品 衛 生 学	食 品 衛 生 学 概 論	講義	2		1	
	食 品 衛 生 学 I	講義	2		1	
	食 品 衛 生 学 II	講義	2		2	
	食 品 衛 生 学 III	講義	2		2	
	食 品 衛 生 学 実 験	実験	1		2	
調 理 理 論	調 理 理 論 I	講義	2		1	
	調 理 理 論 II	講義	2		1	
	調 理 理 論 III	講義	2		1	
	調 理 理 論 IV	講義	2		2	
	調 理 理 論 V	講義	2		2	
調 理 実 習	調 理 実 習 I	実習	2		1	
	調 理 実 習 II	実習	2		1	
	調 理 実 習 III	実習	2		2	
	調 理 実 習 IV	実習	2		2	
	集 団 給 食 実 習	実習	1		2	
目	総 合 調 理 技 術 実 習 I	実習	2		1	
	総 合 調 理 技 術 実 習 II	実習	2		1	
	総 合 調 理 技 術 実 習 III	実習		1	2	
	総 合 調 理 技 術 実 習 IV	実習		1	2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I	実習		1	2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II	実習		1	2	
	総 合 演 習 A	演習		2	1	
	総 合 演 習 B	演習		1	2	

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
専門 関連 科目	製菓実習Ⅰ	実習		1	1	
	製菓実習Ⅱ	実習		1	1	
	製菓実習Ⅲ	実習		1	2	
	食料経済	講義	2		2	
	外食産業論	講義		2	2	
	サービス産業論	講義		2	2	
	ホスピタリティ論	講義		2	2	
	家庭経営	講義		2	1	
	住居学	講義		2	2	
	育児学	講義		2	1	
	被服学	講義		2	2	
	ビジネスマナー	演習		2	1	
合計			66	36		

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎科目については、14単位以上
- 二 専門教育科目については、50単位以上
- 三 専門関連科目については、2単位以上

長崎短期大学食物科 調理コースに関する規定

(趣 旨)

第 1 条 この規定は、長崎短期大学学則第 6 条の 2 の規定に基づき、調理コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第 2 条 調理コースを、調理師養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第 3 条 養成課程は、調理師法第 1 条に規定する調理師の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第 4 条 養成課程の学級数は 1 学年 1 クラスとし、定員は各学年とも 30 人とする。

(履 修)

第 5 条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、食物科に在籍する者に限る。

(授 業)

第 6 条 養成課程の専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第 7 条 養成課程の在籍者は、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、学則別表 1 の 1 に規定する専門教育科目の必修科目及び単位をすべて修得しなければならない。

(履修認定)

第 8 条 養成課程の履修の認定は、所定単位（時間）についての出席、試験、レポート、実験、実習その他による成績審査に合格した者とする。

附 則

この規定は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

食 物 科

(製 菓 コ ー ス)

別表第1の2 (第22条第5項関係)

科目区分	授 業 科 目	授業の方法	単 位 数		配当 年次	備 考	
			必修	選択			
基 礎 教 育	茶 道 文 化 I	演習	1		1		
	茶 道 文 化 II	演習	1		1		
	茶 道 文 化 III	演習	1		2		
	茶 道 文 化 IV	演習	1		2		
	大 学 教 育 入 門	講義	1		1		
	基 礎 化 学	講義	2		1		
	心 理 学	講義		2	1		
	社 会 福 祉	講義		2	2		
	コ ン プ ュ ー タ 演 習 I	演習		1	1		
	コ ン プ ュ ー タ 演 習 II	演習		1	1		
	コ ン プ ュ ー タ 演 習 III	演習	1		2		
	科 目	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	演習	1	1	1	2か国語のうちから1か国語を必修 ※留学生は別表第4に掲げる日本語科目で必修読替可
		フ ラ ン ス 語 I	演習			1	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		演習	1	1	1	2か国語のうちから外国語Iを履修した1か国語を必修 ※留学生は別表第4に掲げる日本語科目で必修読替可	
フ ラ ン ス 語 II		演習			1		
フ ラ ン ス 語 III		演習		1	2	フランス語I・IIを履修した学生	
フ ラ ン ス 語 IV		演習		1	2	フランス語I・II・IIIを履修した学生	
保 健 体 育		ス ポ ー ツ 実 習 I	実習	1		1	
		ス ポ ー ツ 実 習 II	実習	1		1	
専 門 教 育 科 目	衛 生 法 規	講義	2		2		
	公 衆 衛 生 学	公 衆 衛 生 学 I	講義	2		1	
		公 衆 衛 生 学 II	講義	2		1	
		公 衆 衛 生 学 III	講義	2		2	

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考	
			必修	選択			
専門 教育 科目	食品学	講義	4		1		
	栄養学	講義	4		1		
	食品衛生学	食品衛生学概論	講義	2		1	
		食品衛生学Ⅰ	講義	2		1	
		食品衛生学Ⅱ	講義	2		1	
		食品衛生学Ⅲ	講義	2		2	
		食品衛生学Ⅳ	講義	2		2	
		食品衛生学実験	実験	1		2	
	製菓理論	製菓理論Ⅰ	講義	2		1	
		製菓理論Ⅱ	講義	2		1	
		製菓理論Ⅲ	講義	2		2	
		製菓理論Ⅳ	講義	2		2	
		製菓理論Ⅴ	講義	2		2	
	製菓実習	製菓実習Ⅰ	実習	4		1	基礎実習
		製菓実習Ⅱ	実習	4		1	
		製菓実習Ⅲ	実習	4		2	専門実習
		製菓実習Ⅳ	実習	4		2	
	目	製菓店経営概論	講義	4		2	
		製菓技術実習	実習		1	2	
		インターンシップ	実習		1	2	
総合演習		演習		2	2		
専門関連科目	調理実習	調理実習Ⅰ	実習		1	1	
		調理実習Ⅱ	実習		1	1	
		調理実習Ⅲ	実習		1	2	

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
専門 関連 科目	食料経済	講義	2		2	
	外食産業論	講義		2	2	
	サービス産業論	講義		2	2	
	ホスピタリティ論	講義		2	2	
	家庭経営	講義		2	1	
	住居学	講義		2	2	
	育児学	講義		2	1	
	被服学	講義		2	2	
	ビジネスマナー	演習		2	1	
	トータルコーディネート	演習		2	2	
合計			71	35		

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎科目については、12単位以上
- 二 専門教育科目については、57単位以上
- 三 専門関連科目については、2単位以上

長崎短期大学食物科 製菓コースに関する規定

(趣 旨)

第 1 条 この規定は、長崎短期大学学則第 6 条の 2 の規定に基づき、製菓コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第 2 条 製菓コースを、製菓衛生師養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第 3 条 養成課程は、製菓衛生師法第 1 条に規定する製菓衛生師の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第 4 条 養成課程の学級数は 1 学年 1 クラスとし、定員は各学年とも 30 人とする。

(履 修)

第 5 条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、食物科に在籍する者に限る。

(授 業)

第 6 条 養成課程の専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第 7 条 養成課程の在籍者は、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、学則別表 1 の 2 に規定する専門教育科目の必修科目及び単位をすべて修得しなければならない。

(履修認定)

第 8 条 養成課程の履修の認定は、所定単位（時間）についての出席、試験、レポート、実験、実習その他による成績審査に合格した者とする。

附 則

この規定は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

保 育 学 科

(保 育 専 攻)

別表第2の1 (第22条第5項関係)

科目区分	授 業 科 目	授業の方法	単位数		配当年次	備 考 ☆保育士資格必修科目 ◎幼稚園教諭二種免許必修科目	
			必修	選択			
基礎 教育 科目	茶 道 文 化 I	演習	1		1		
	茶 道 文 化 II	演習	1		1		
	茶 道 文 化 III	演習	1		2		
	茶 道 文 化 IV	演習	1		2		
	大 学 教 育 入 門	講義	1		1		
	日 本 国 憲 法	講義	2		1	◎	
	女 性 学	講義		2	1		
	生 物 学	講義		2	1		
	外 国 語 I	演習	2		1	◎	
	英語コミュニケーション	演習		2	1		
	保 健 体 育	ス ポ ー ツ 科 学	講義	1		1	☆ ◎
		ス ポ ー ツ 実 習	実習	1		2	☆ ◎
	情 報	コ ン プ ュ ー タ 演 習	演習		2	1	◎
	専 門 教 育 科 目	社 会 福 祉	講義	2		1	☆
社 会 福 祉 援 助 技 術		演習	2		2	☆	
児 童 福 祉		講義	2		1	☆	
児 童 福 祉 II		演習		2	1		
保 育 原 理		講義	4		1	☆	
養 護 原 理		講義	2		1	☆	
教 育 原 理		講義	2		2	☆	
教 師 論		講義		2	2	◎	
教 育 方 法 論		講義		2	2	◎	
学 級 経 営 論		講義		2	2		
保 育 計 画 論		講義		2	1		
教 育 実 習		実習		4	2	◎	
実 習 指 導	演習		2	2	☆ ◎		

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考 ☆保育士資格必修科目 ◎幼稚園教諭二種免許必修科目	
			必修	選択			
専門	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学	講義	2		1	☆
		発達心理学Ⅱ	演習		1	2	
		臨床心理学	演習		2	2	
		保育相談	講義		2	2	
		教育心理学	講義	2		1	☆
		小児保健	講義	4		1	☆
		小児保健実習	実習		1	2	☆
		小児栄養	演習	2		1	☆
		精神保健	講義	2		1	☆
		家族援助論	講義		2	2	☆
教科	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育内容Ⅰ (総論)	演習		1	1	☆
		保育内容Ⅰ (健康)	演習		1	1	☆
		保育内容Ⅰ (表現音楽活動)	演習		2	1・2	☆
		保育内容Ⅰ (表現造形活動)	演習		2	2	☆
		保育内容Ⅱ (人間関係)	演習		1	2	
		保育内容Ⅱ (環境)	演習		1	2	
		保育内容Ⅱ (言葉)	演習		1	1	
		保育内容Ⅱ (マーチング1)	演習		1	1	
		保育内容Ⅱ (マーチング2)	演習		1	2	
		保育内容特殊研究 (オペレッタ)	演習		1	2	
		保育内容特殊研究 (ダンス)	演習		1	2	
		保育内容特殊研究 (マーチング)	演習		1	2	
		幼児教育指導法 a	演習		1	1	
		幼児教育指導法 b	演習		1	2	
		乳児保育	演習	2		1	☆
		養護内容	演習		1	2	☆
		障害児保育	演習		1	2	☆
児童文化	演習		2	2			

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考 ☆保育士資格必修科目 ◎幼稚園教諭二種免許必修科目	
			必修	選択			
専門教育科目	音楽Ⅰ (ピアノ)(声楽)	演習		2	1	☆ ※これらの科目のうち4単位を選択必修	
	図画工作Ⅰ	演習		2	1		
	体育Ⅰ	演習		2	1		
	音楽Ⅱ(ピアノ)	演習		2	2		
	図画工作Ⅱ	演習		2	2		
	体育Ⅱ	演習		2	2		
	国語表現法	講義		2	1		
	算数	講義		2	1		
	生活	講義		2	1		
	保育実習	保育実習Ⅰ	実習		4	1~2	☆
		保育実習Ⅱ	実習		2	2	
		保育実習Ⅲ	実習		2	2	
	総合演習	総合演習 (教育実践演習)(幼稚園)	演習		2	2	☆◎
	合計			39	80		

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎科目については、外国語（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた13単位以上必要。
- 二 専門教育科目については、必修科目（28単位）を含め50単位以上必要。
- 三 基礎教育科目（13単位以上）と専門教育科目（50単位以上）の合計63単位以上の修得を卒業の要件とする。

保 育 学 科
(介 護 福 祉 専 攻)

別表第2の2 (第22条第5項関係)

科目区分	授 業 科 目	授業の方法	単 位 数		配当年次	備 考	
			必修	選択			
基礎 教育 科目	茶 道 文 化 I	演習	1		1		
	茶 道 文 化 II	演習	1		1		
	茶 道 文 化 III	演習	1		2		
	茶 道 文 化 IV	演習	1		2		
	大 学 教 育 入 門	演習	1		1		
	女 性 学	講義		2	1	} 3単位以上選択必修	
	英 語	講義		2	1		
	ス ポ ー ツ 科 学	講義		1	1		
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習 I	演習		1	1		
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習 II	演習		1	1		
	文 書 資 料 購 読	講義		2	1		
	福 祉 文 化	演習		1	2		
人 間	人 間 の 尊 厳 と 自 立	講義	2		1		
専 門 社 会	人 間 関 係 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	講義	2		1		
	社 会 の 理 解 I	講義	1		1		
	社 会 の 理 解 II	講義	2		1		
教 育 科 目	社 会 の 理 解 III	講義	1		2		
	介 護	介 護 の 基 本 A	講義	4		1	
		介 護 の 基 本 B	講義	4		1	
		介 護 の 基 本 C	講義	4		1	
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン A	演習	1		1	
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン B	演習	1		2	
		生 活 支 援 技 術 A	演習	6		1~2	
		生 活 支 援 技 術 B	演習	3		1	
生 活 支 援 技 術 C		演習	1		2		

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考	
			必修	選択			
専門 関連 科目	介護	介護過程Ⅰ	演習	1		1	
		介護過程Ⅱ	演習	1		1	
		介護過程Ⅲ	演習	2		1~2	
		介護過程Ⅳ	演習	1		2	
		介護総合演習Ⅰ	演習	2		1	
		介護総合演習Ⅱ	演習	2		2	
		介護実習Ⅰ	実習	6		1	学外実習
		介護実習Ⅱ	実習	5		2	学外実習
	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解Ⅰ	講義	2		1	
		発達と老化の理解Ⅱ	講義	2		1	
		認知症の理解A	講義	2		1	
		認知症の理解B	講義	2		1	
		障害の理解Ⅰ	講義	2		1	
		障害の理解Ⅱ	講義	2		1	
		こころとからだA	講義	2		1	
		こころとからだB	講義	2		1	
		こころとからだC	講義	2		1	
		こころとからだD	講義	2		2	
	選択	介護福祉特別演習Ⅰ	演習		2	1	
介護福祉特別演習Ⅱ		演習		2	2		
合計			77	14			

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎教育科目については選択必修科目（3単位以上）を含めた8単位以上
- 二 専門教育科目については必修科目72単位以上
- 三 基礎教育科目8単位以上と専門教育科目72単位の合計80単位以上の修得を卒業の要件とする。

英 語 科

別表第3（第22条第5項関係）

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考	
			必修	選択			
基礎教育以外の科目	大学教育入門	講義	1		1	留学生は「日本事情Ⅰ」で読替	
	茶道文化Ⅰ	演習	1		1		
	茶道文化Ⅱ	演習	1		1		
	茶道文化Ⅲ	演習	1		2		
	茶道文化Ⅳ	演習	1		2		
	日本文化研究Ⅰ	演習	1		1		
	日本文化研究Ⅱ	演習		1	2		
	国語表現法	講義		2	1		
	キャリア支援講座	講義		2	1		
	ビジネスマナーⅠ	演習		1	1		
	社会心理学	講義		2	2		
	日本国憲法	講義		2	2		
	比較文化演習	演習		1	1		
	異文化理解演習	演習		1	2		
	教養ゼミⅠ	演習	1		1		
	教養ゼミⅡ	演習	1		1		
	外国語	韓国語基礎	演習		2	1	日本人は「韓国語基礎」・「中国語基礎」のいずれか必修 留学生は英語Ⅰ必修
		中国語基礎	演習		2	1	
		英語Ⅰ	演習		2	1	
英語Ⅱ		演習		2	2		
体育	実践スポーツⅠ	実技		1	1	1単位以上選択必修 「実践スポーツⅠ・Ⅱ」は留学生対象	
	実践スポーツⅡ	実技		1	1		
	スポーツ実習Ⅰ	実技		1	2		
	スポーツ実習Ⅱ	実技		1	2		

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考		
			必修	選択				
基礎教育科目	情報	マルチメディア論	講義		2	1	日本人は「OA機器実習Ⅰ・Ⅱ」必修 留学生は「コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」必修	
		ワープロⅠ	演習		1	1		
		ワープロⅡ	演習		1	1		
	報	OA機器実習Ⅰ	演習	1				2
		OA機器実習Ⅱ	演習	1				2
	処	コンピュータ基礎演習Ⅰ	演習	(1)				2
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	演習	(1)				2
	理	文書作成基礎	演習			2		1
		表計算基礎	演習			2		1
		コンピュータ演習	演習			2		2
コンピュータ応用		演習			2	2		
英会話Ⅰ		演習	2			1		
専門教育科目	英会話Ⅱ	演習	2			1	注1) 留学生は別表第4に掲げる日本語AⅠ～EⅡで必修読替可。	
	英会話Ⅲ	演習	2			2		
	英会話Ⅳ	演習			2	2		
	英語演習Ⅰ	演習	2			1		
	英語演習Ⅱ	演習	2			1		
	ライティングⅠ	演習	2			1		
	ライティングⅡ	演習			2	1		
	英語検定演習Ⅰ	演習	2			1		
	英語検定演習Ⅱ	演習	2			1		
	英語検定演習Ⅲ	演習	2			2		
	シネマ英語Ⅰ	演習	2			2		
	シネマ英語Ⅱ	演習			2	2		
	通訳ガイド基礎	演習			2	1		
科目	翻訳基礎	演習			2	1		
	実践英語音声学	演習			2	2		
	英語プレゼンテーションⅠ	講義			2	2		
	英語プレゼンテーションⅡ	講義			2	2		
	英語学概論	講義			2	2		
	英米文学	講義			2	2		
	日本語教育入門	講義			2	2		

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
専門教育科目	児童英語教授法	講義		2	2	
	ホテル業論	講義		2	1	
	観光地域論	講義		2	1	
	国際旅行業論	講義		2	1	
	観光概論	講義		2	2	
	キャリア検定演習	演習		1	1	
	プレゼン実践演習	演習		1	1	
	ビジネスマナーⅡ	演習		1	2	
	インターンシップA	実習		4	1	注2) インターンシップA・B I～BⅢは基礎教育科目 「ビジネスマナーⅠ」または 専門教育科目「プレゼン 実践演習」を履修した 者のみ履修可となる。
	インターンシップBⅠ	実習		1	1	
	インターンシップBⅡ	実習		1	2	
	インターンシップBⅢ	実習		1	2	
	観光英語	演習		2	1	
	英米ポップカルチャー	演習		2	2	
専門関連科目	総合ゼミⅠ	演習	1		2	
	総合ゼミⅡ	演習	1		2	
	外国文化事情Ⅰ	演習		2	1	日本国内での異文化交流活動
	外国文化事情Ⅱ	講義		1	1・2	「市民(英語科)公開講座」への参加
	外国文化事情Ⅲ	演習		1	1・2	アジア圏への短期海外研修
	外国文化事情Ⅳ	演習		1	1・2	英語圏への短期海外研修
	外国文化事情Ⅴ	演習		4	1・2	3か月(中期)留学
合計			32	91		

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎教育科目については、必修10単位を含め20単位以上
- 二 専門教育科目及び専門関連科目については、必修22単位を含め合計42単位以上
- 三 基礎教育科目、専門教育科目、専門関連科目の合計が62単位以上

別表第4 外国人留学生に対して開設する日本語科目及び日本事情科目（第22条第3項関係）

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		配当年次	備考	
			必修	選択			
基礎教育科目対応	日本語科目	日本語表現法 A I	講義		2	1	6 単位以上選択必修 注1) 英語科の留学生に限り、別表第3基礎教育科目の「大学教育入門」および選択科目と読替可とする。
		日本語表現法 A II	講義		2	1	
		日本語表現法 B I	講義		2	1	
		日本語表現法 B II	講義		2	1	
	日本事情科目	日本事情 I	講義		2	1	
		日本事情 II	講義		2	1	
		日本文化論 I	講義		2	1	
		日本文化論 II	講義		2	1	
専門教育科目対応	日本語	日本語 A I	演習	2		1	6 単位以上選択必修 注2) 英語科の留学生に限り、別表第3に掲げる学科の専門教育科目の必修科目と読替可とする。
		日本語 B I	演習	2		1	
		日本語 C I	演習	2		1	
		日本語 D I	演習	2		1	
		日本語 E I	演習	2		1	
		日本語 A II	演習	2		2	
		日本語 B II	演習	2		2	
		日本語 C II	演習	2		2	
		日本語 D II	演習	2		2	
		日本語 E II	演習	2		2	
	科目	日本語検定演習 I	演習		1	2	6 単位以上選択必修 注3) 英語科の留学生に限り、別表第3に掲げる学科の専門教育科目の選択科目と読替可とする。
		日本語検定演習 II	演習		1	2	
		日本語表現実践 I	演習		1	2	
		日本語表現実践 II	演習		1	2	
		ビジネス日本語 I	演習		2	2	
		ビジネス日本語 II	演習		2	2	
		文書資料講読 I	演習		2	2	
		文書資料講読 II	演習		2	2	

別表第5-2 英語科の教職課程（第22条第5項関係）

(1) 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低単位	本学科開講科目	単位数		備考
			必修	選択	
教職の意義等に関する科目	2	教師論	2		
教育の基礎理論に関する科目	4	教育原理	2		
		教育心理学	2		
教育課程及び指導法に関する科目	4	教育課程論	1		
		英語科教育法	2		
		道徳教育の研究	1		
		特別活動の指導	1		
		教育方法論	1		
生活指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導（進路指導含む）	2		
		教育相談	2		
教育実習	5	中学校教育実習	4		
		事前指導	1		
教職実践演習	2	教職実践演習（中学校）	2		
計	21	計	23		

*介護等体験（1年次8月～9月）－ 社会福祉施設4日 特別支援学校3日

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

指 定 科 目	本学における開設科目		
	授 業 科 目	単 位	配当年次
日 本 国 憲 法	日 本 国 憲 法	2	2
体 育	ス ポ ー ツ 実 習 I	1	2
	ス ポ ー ツ 実 習 II	1	2
外国語コミュニケーション	英 語 演 習 I	2	1
	英 語 演 習 II	2	1
情 報 機 器 の 操 作	コ ン プ ュ ー タ 演 習	2	2
	コ ン プ ュ ー タ 応 用	2	2
	O A 機 器 実 習 I	1	2
	O A 機 器 実 習 II	1	2
	文 書 作 成 基 礎	2	1
	表 計 算 基 礎	2	1

(3) 教科に関する科目（教育職員免許法施行規則第3条）

免許法施行規則に定める科目区分	最低単位	本学科開講科目	単位数		備考
			必修	選択	
英語学	1	英語学概論		2	必修
		英語演習Ⅰ	2		
		英語演習Ⅱ	2		
		ライティングⅠ	2		
		ライティングⅡ		2	必修
		通訳ガイド基礎		2	必修
		実践英語音声学		2	必修
英米文学	1	英米文学		2	必修
		翻訳基礎		2	必修
英語コミュニケーション	1	英会話Ⅰ	2		
		英会話Ⅱ	2		
		英会話Ⅲ	2		
		英会話Ⅳ		2	必修
		シネマ英語Ⅰ	<u>2</u>		
		シネマ英語Ⅱ		<u>2</u>	
異文化理解	1				
		比較文化演習		<u>1</u>	必修
		異文化理解演習		<u>1</u>	必修
計	10	計	14	18	

(4) 教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低単位	本学科開講科目	単位数		備考
			必修	選択	
教科又は教職に関する科目	4	総合演習	<u>1</u>		
計	4	計	<u>1</u>		

注記：教科に関する科目及び教職に関する科目で最低習得単位数を超えて修得した単位をあてる

専 攻 科（保育専攻）

別表第7-1（第57条関係）

授 業 科 目		授業の 方 法	単 位 数		配当 年次	備 考	
			必修	選択			
教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目	幼 児 英 語 指 導 法	講義		2	2		
	実 践 コ ン プ ュ ー タ	演習	2		1		
教科に関する科目	幼 児 国 語	講義		2	1		
	幼 児 算 数	講義		2	2		
	幼 児 生 活	講義		2	2		
	音 楽 研 究 I	演習	1		1		
	音 楽 研 究 II	演習		1	1		
	図 画 工 作 研 究 I	演習	1		1		
	図 画 工 作 研 究 II	演習		1	1		
	体 育 研 究 I	演習	1		2		
体 育 研 究 II	演習		1	2			
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	保 育 職 特 論	講義	2		2	
	教育の基礎理論に関する科目	保 育 原 理 特 論	講義	2		1	
		発 達 障 害 各 論	講義		2	2	
		心身の発達と学習過程	講義	2		1	
		保 育 経 営 論	講義	2		1	
	教育課程及び指導法に関する科目	カ リ キ ュ ラ ム 論	講義		2	2	
		保育内容(表現音楽)研究I	演習	2		2	
		保育内容(表現音楽)研究II	演習		2	2	
		保育内容(表現造形)研究I	演習	2		2	
		保育内容(表現造形)研究II	演習		2	2	
		保育内容(人間関係)研究	演習	2		1	
		保育内容(環境)研究	演習		2	1	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	臨 床 心 理 学 特 論	講義		2	1	
保 育 児 童 (子 育 て) 相 談		講義	2		2		
その他の基礎科目	子 ど も と 道 徳	講義		2	1		
	ホ ス ピ タ リ テ ィ ー 論	講義	2		2		

授 業 科 目	授業の 方 法	単 位 数		配当 年次	備 考	
		必修	選択			
その他の専門教育科目	障 害 福 祉 論	講義	2		2	
	子ども家庭援助技術特論	講義		2	2	
	子ども家庭福祉特論	講義	2		1	
	世 代 間 交 流 論	講義		2	2	
	保 育 者 看 護 論	講義		2	2	
	児 童 文 化 研 究	講義		2	1	
	保育実践特別研究Ⅰ	演習	2		1	
	保育実践特別研究Ⅱ	演習		2	1	
	保育実践特別研究Ⅲ	演習		2	1	
	保育実践特別研究Ⅳ	演習		2	2	
	保育実践特別研究Ⅴ	演習		2	2	
	修 了 研 究 Ⅰ	演習	2		1	
	修 了 研 究 Ⅱ	演習	2		1	
	修 了 研 究 Ⅲ	演習	2		2	
	修 了 研 究 Ⅳ	演習	2		2	
合 計			37	43		

修了の要件

必修科目37単位は必ず履修し、62単位以上の修得を修了の要件とする。

保育士養成課程と保育学科保育専攻の対照履修方法

保 育 士 養 成 課 程				保育学科保育専攻の対照履修方法			
	系 列	教 科 目	単位数	本 学 科 開 講 科 目	単位数		
教 養 科 目		外 国 語 (演習)		英語コミュニケーション	2		
				英 語 I	2		
		体 育 (講義)	1	スポーツ科学	1		
		体 育 (実技)	1	スポーツ実習	1		
		そ の 他				茶道文化Ⅰ	1
						茶道文化Ⅱ	1
						茶道文化Ⅲ	1
						茶道文化Ⅳ	1
						大学教育入門	1
						日本国憲法	2
女 性 学	2						
生 物 学	2						
小 計			8以上	小 計			
必 修 科 目	理 解 に 関 す る 科 目 保 育 の 本 質 ・ 目 的 の	社会福祉 (講義)	2	社会福祉	2		
		社会福祉援助技術(演習)	2	社会福祉援助技術	2		
		児童福祉 (講義)	2	児童福祉	2		
		保育原理 (講義)	4	保育原理	4		
		養護原理 (講義)	2	養護原理	2		
		教育原理 (講義)	2	教育原理	2		
	関 係 す る 科 目 保 育 の 対 象 の 理 解 に	発達心理学 (講義)	2	発達心理学	2		
		教育心理学 (講義)	2	教育心理学	2		
		小児保健 (講義・実習)	5	小児保健	4		
				小児保健実習	1		
		小児栄養 (演習)	2	小児栄養	2		
		精神保健 (講義)	2	精神保健	2		
	家族援助論 (講義)	2	家族援助論	2			
に 関 す る 科 目 保 育 の 内 容 ・ 方 法 の 理 解	保 育 内 容 (演習)		6	保育内容Ⅰ (総論)	1		
				保育内容Ⅰ (健康)	1		
				保育内容Ⅰ (表現音楽活動)	2		
				保育内容Ⅰ (表現造形活動)	2		
	乳児保育 (演習)	2	乳児保育	2			
	障害児保育 (演習)	1	障害児保育	1			
養護内容 (演習)	1	養護内容	1				
基 礎 技 能	基 礎 技 能 (演習)	4		音楽Ⅰ (ピアノ) (声楽)	2		
				図画工作Ⅰ	2		
				体育Ⅰ	2		
保 育 実 習	保 育 実 習 (実習)	5		保育実習Ⅰ	4		
				実習指導	2		
総 合 演 習	総 合 演 習 (演習)	2		総合演習(教職実践演習)(幼稚園)	2		
小 計			50	小 計			

保 育 士 養 成 課 程				保育学科保育専攻の対照履修方法	
	系 列	教 科 目	単位数	本 学 科 開 講 科 目	単位数
選 択 必 修 科 目	保育の本質・目的の理解に関する科目		8以上	児童福祉Ⅱ	2
	保育の対照の理解に対する科目			発達心理学Ⅱ	2
				臨床心理学	1
				保育内容Ⅱ（人間関係）	1
				保育内容Ⅱ（環境）	1
				保育内容Ⅱ（言葉）	1
				保育内容Ⅱ（マーチング1）	1
				保育内容Ⅱ（マーチング2）	1
				保育内容特殊研究（オペレッタ）	1
				保育内容特殊研究（ダンス）	1
				保育内容特殊研究（マーチング）	1
				児童文化	2
				音 楽 Ⅱ（ピアノ）	2
				図画工作Ⅱ	2
				体 育 Ⅱ	2
	保育実習	保育実習Ⅱ（実習）	2以上	保育実習Ⅱ	2
		保育実習Ⅲ（実習）		保育実習Ⅲ	2
	小 計		10以上	小 計	25
	合 計		68以上	合 計	95

教 職 課 程

別表第5-1 保育学科の教職課程（第22条第5項関係）

（教育職員免許法施行規則と本学科の対照履修方法）

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本 学 科 開 講 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基 礎 科 目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		
	体 育	2	スポーツ科学	1		
			スポーツ実習	1		
	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
			英 語 I		2	
	情報機器の操作	2	コンピュータ演習	2		
計	8	計	8	2		
教 科 に 関 す る 科 目		4	国語表現法		2	
			算 数		2	
			生 活		2	
			図画工作 I		2	
			図画工作 II		2	
			音 楽 I（ピアノ）（声楽）		2	
			音 楽 II（ピアノ）		2	
			体 育 I		2	
			体 育 II		2	
			計	4	計	0
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	2	教 師 論	2		
	教育の基礎理論に関する科目	4	教育原理	2		
			保育原理	4		
			教育心理学	2		
			障害児保育		1	

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本 学 科 開 講 科 目	単 位 数		備 考	
				必修	選択		
教 職 に 関 す る 科 目	教育課程及び 指導法に関する科目 (教育課程の意義及び編成の方法) (保育内容の指導法) (教育方法及び技術)	12	学級経営論		2	} 選択必修	
			保育計画論		2		
			保育内容Ⅰ（総論）		1	} 1科目以上 選択必修	
			保育内容Ⅰ（健康）		1		
			保育内容Ⅰ（表現音楽活動）		2		
			保育内容Ⅰ（表現造形活動）		2		
			保育内容Ⅱ（人間関係）		1		
			保育内容Ⅱ（環境）		1		
			保育内容Ⅱ（言葉）		1		
			保育内容Ⅱ（マーチング1）		1		
			保育内容Ⅱ（マーチング2）		1		
			保育内容特殊研究(オペレッタ)		1		
			保育内容特殊研究（ダンス）		1		
			保育内容特殊研究(マーチング)		1		
			幼児教育指導法 a		1		
	幼児教育指導法 b		1				
	養護内容		1				
				教育方法論	2		
		生活指導、教育相談及び進路 指導等に関する科目	2	発達心理学	2		
発達心理学Ⅱ					1		
臨床心理学					2	} 選択必修	
保育相談					2		
教育実習		5	教育実習	4			
			実習指導	2			
	教職実践演習	2	総合演習 (教育実践演習) (幼稚園)	2			
	計	27	計	22	27		

教 職 課 程

別表第7-2 専攻科（保育専攻）の教職課程

（教育職員免許状施行規則と本専攻の対照履修方法）

免許法施行規則に定める科目区分		最低単位数	本専攻科開講科目	単位数	
				必修	選択
基礎科目	日本国憲法	0 (二種を含め2)			
	体育	0 (二種を含め2)			
	外国語コミュニケーション	0 (二種を含め2)	幼児英語指導法		2
	情報機器の操作	0 (二種を含め2)	実践コンピュータ	2	
	計	0 (二種を含め8)	計	2	2
教科に関する科目	国語 算数 生活 音楽 図画工作 体育	2 (二種を含め6)	幼児国語		2
			幼児算数		2
			幼児生活		2
			音楽研究Ⅰ	1	
			音楽研究Ⅱ		1
			図画工作研究Ⅰ	1	
			図画工作研究Ⅱ		1
			体育研究Ⅰ	1	
	体育研究Ⅱ		1		
計	2 (二種を含め6)	計	3	9	
教職に関する科目	教職の意識等に関する科目	0 (二種を含め2)	保育職特論	2	
	教育の基礎理論に関する科目	2 (二種を含め6)	保育原理特論	2	
			発達障害各論		2
			心身の発達と学習過程	2	
			保育経営論	2	
	教育課程及び指導法に関する科目	6 (二種を含め18)	カリキュラム論		2
			保育内容(表現音楽)研究Ⅰ	2	
			保育内容(表現音楽)研究Ⅱ		2
			保育内容(表現造形)研究Ⅰ	2	
			保育内容(表現造形)研究Ⅱ		2
			保育内容(人間関係)研究	2	
			保育内容(環境)研究		2
	保育内容(言葉)研究		2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	0 (二種を含め2)	臨床心理学特論		2	
		保育児童(子育て)相談	2		
教育実習	0 (二種を含め5)				
教職実践演習	0 (二種を含め2)				
計	8 (二種を含め35)	計	16	14	

※ その他教科に関する科目、教職に関する科目の最低修得単位数を超えて修得した単位が10単位以上必要

教育職員免許状取得のための履修規定

(1) 保 育 学 科 (幼稚園教諭二種免許状)

本学保育学科において幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、本学の卒業要件を充たし、基礎教育科目における日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位及び情報機器の操作2単位、教科に関する科目4単位、教職に関する科目27単位を履修し単位を取得しなければならない。

(2) 英 語 科

① 中学校教諭二種免許状

本学英語科において中学校教諭二種免許状（英語）を取得するためには、本学の卒業要件を充たし、基礎教育科目における日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位及び情報機器の操作2単位、教科に関する科目29単位以上、教職に関する科目24単位を履修し、単位を取得しなければならない。

② 中学校教諭二種免許状申請時の要件

教職課程を履修して必要な単位を取得し免許申請をする時に、介護等体験としての社会福祉施設等での4日間の体験、及び養護学校での3日間の体験を終了していることの証明書が必要である。

この体験活動は、県教育委員会並びに県社会福祉協議会と短期大学間で取り決められた指定期間及び指定施設で体験しなければならない。

(3) 専攻科・保育専攻 (幼稚園教諭一種免許状)

本学専攻科・保育専攻において幼稚園教諭一種免許状を取得するためには、入学前に幼稚園教諭二種免許状を取得し、本専攻科の修了要件を充たし、教科に関する科目2単位、教職に関する科目8単位、教科又は教職に関する科目10単位を履修し単位を取得しなければならない。さらに学士の学位を取得しなければならない。